

古文書に学ぶ島の歴史 繋ぐ未来

期日 令和6年1月26日(金)

場所 未来創造センター

開場 午後5時30分

開始 午後6時00分

入場 無料

開催方法 対面＋ライブ配信

ライブ配信
QRコードを
携帯で読み取り
ご参加下さい。



多良間村では、平成30年度から沖縄振興特別推進交付金を活用し、ふるさと民俗学習館所蔵の古文書を修復・現代語訳等行ってきました。

今回は、多良間島と宮古島市において実績報告と新たに確認された古文書についての講演、パネルディスカッションを行います。

○アトラクション 多良間村青年団協議会「ふしゃぬふエイサー 大豊見親」

全体進行 桃原 薫(多良間村教育委員会)

事業説明 山田 豊(株式会社 Nansei)

○講演

○「多良間島古文書の世界 家譜資料を中心に」 山田 浩世(沖縄県立芸術大学 全学教育センター准教授)

○「多良間島公事帳」と「多良間島農務帳」から多良間島の歴史を探る 豊見山 和行(琉球大学 名誉教授)

○「書状関係史料について」 麻生 伸一(琉球大学 人文社会学部教授)

○「惣頭物成帳」に見る明治10年と同22年の多良間島の人々 金城 善(元糸満市立中央図書館長)

○「多良間の古文書に見る組踊の世界」 鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学 芸術文化研究所 准教授)

○パネルディスカッション

進行 平良 斗星(スタートライン株式会社)